

校長通信 「学ばん共に」



その10 「耐えて鍛える冬」はこれから(3学期始業式校長式辞)



1月9日 始業式 「エンジン」県大会出場チーム紹介

▶終業式の話の前に元旦に起きた「能登半島地震」…とても大きな被害となり、その状況が連日報道されています。犠牲者と関係者のみなさんの気持ちに寄り添い、短い時間ではありますが、黙祷を行いたいと思います。賛同してくださる方はどうぞ、その場で黙祷をお願いします。黙祷(ありがとうございます)…世界で、そして日本で様々なことが起きた年の瀬、年始めでした。そうした中でこの可美の学舎に全校生徒・全職員で集えることを心から感謝したいと思います。

▶さて、みなさん。17日間の冬休み…例年よりもちょっと長い冬休み…「自分磨き」や「エネルギー充電」になったでしょうか。私が掲げた言葉…「耐えて鍛える冬」、「きっかけは知らない 行動が人を変える」(テロップ提示)…この言葉を覚えていますか。この行動というところが、とても大切ですね。自分なりのチャレンジがどれだけできましたか。

▶3年生は、受検生としてとことん勉強!というチャレンジを続けた人が多かったことでしょう。もちろん、そうですね。…頷いてくれる人がいます。嬉しいです。1・2年生は何をやるか自分自身で決めてやり抜く…そういうチャレンジのできた人がどれくらいいたのでしょうか。おっ…「まかせてください」という顔つきの人がいます。素晴らしいことです。顔つきというのは、その人の意思・気持ちを表します。ここから見ていても、一人一人の表情がよくわかるものです。

▶では、そういう私自身はどうか…「校長は何かチャレンジをしているんですか?」みなさんの心のつぶやきが聞こえてきます。ちょっと気恥しい話ではありますが、まず、そうしたみなさんのつぶやきにお答えします。私がこの冬に掲げたのは「週5日ランニングする」というものでした。家の周りを6キロほど走るランニングです。昨年8月より歩くことから始め、少しずつ距離を伸ばしてきました。走るのが得意な人にとっては何でもないことだとは思いますが、運動不足の私にとってはかなり高い目標でした。歩くのはなんとか頑張れました。でも、走り出してからは、何度もくじけそうになりました。そんな時、私を支えたのはランニング中に目にするグラウンドで練習に励む若者たちの姿でした。野球・サッカー・陸上…種目は様々でしたが、彼らがひたむきに取り組む姿は私にとって大きな励みとなりました。「みんながんばるな。私も負けられん。」と思いました。名前も知らない人たちの姿でしたが、なぜか私にとっては大きな支えとなりました。

▶私は思います。これこそ「可美の学舎」が大切にしているのだと。地道に努力を続けることは決して簡単ではありません。だれでも、易き道に流されやすいものです。でも、そんな時、その傍らで必死になってがんばる人の姿は、時に大きな刺激となり、「私も、もう少しがんばろう」と思わせるものになります。3学期は次の年度に向けて準備する0学期でもあります。この大切な準備期間に、互いに切磋琢磨することで、さらに充実したものにできたら、これほど素晴らしいことはありません。互いの良さを認め合いながら高めあう可美中生…その成長にとっても期待しています。

▶まだまだ寒い日が続きます。さらに本格的な冬がきます。「耐えて鍛える冬」はこれからです。3学期始めに新たな目標を立てて一歩一歩前進する…毎日が充実した生活になるといいですね。4月に向けて、自分なりの努力と工夫を、是非続けてください。皆さんにとってこの3学期が、大きく飛躍する、素晴らしい学期になることを心から願っています。私からの話は以上です。ありがとうございました。

(北村健治)

★保護者・地域のみなさまへ…1/23(火)13:30より、中野祐介浜松市長をお呼びして「やらまいか講演会」を開きます。是非、お越しください。